

## アドビシステムズ、シャチハタ、日本ペリサイン、三菱電機は 電子署名ソリューション提供における協業で合意

利用者が使いやすい製品・サービスを提供し、押印の必要な文書の電子化を促進

### 【2001年11月15日】

アドビシステムズ株式会社（東京都品川区 代表取締役：石井 幹）、シャチハタ株式会社（名古屋市西区 代表取締役社長：舟橋 紳吉郎）、日本ペリサイン株式会社（神奈川県川崎市 幸区 代表取締役社長 兼 CEO 川島 昭彦）、三菱電機株式会社（東京都千代田区 社長：谷口 一郎）の4社は、今後の急速な市場拡大が予想される電子申請、電子決裁の分野で必須となる電子署名ソリューションにおいて、世界で普及している電子文書形式「Adobe® PDF<sup>\*1</sup>」と、日本の文化・制度に馴染みの深い「印影」を用いた電子署名ソリューションの提供について共同で推進していくことで合意いたしました。

\*1 : Portable Document Format

### 背景とこれまでの各社取り組み

電子署名が手書きの署名や押印と同等に通用する法的基盤が「電子署名および認証業務に関する法律」（電子署名法、2001年4月施行）により整備されました。これにより、官公庁への申請手続きや企業間取引など従来、押印が必要とされてきた文書を電子化する動きが加速される事が予想されます。また送られてきた電子文書が確かに送信者本人の作成によるものであり、改ざんされていない、ということを保証するPKI<sup>\*2</sup>（公開鍵暗号基盤）と呼ばれる技術も確立されており、実用化の段階に入りつつあります。

\*2 : Public Key Infrastructure

現在、アドビシステムズ、シャチハタ、日本ペリサイン、三菱電機の4社は、個々に電子署名に関連する製品・サービスを販売しており、特定の製品・サービスの範囲で当事者間の協業関係がありました（資料）。今回、各社の今後の事業拡大を加速するため、この分野で次の特長をもつ4社がこれまでの関係をさらに発展させ、提供する製品・サービスの枠組みの共通化と、市場を喚起する活動を共同で行うことで合意しました。

- ・アドビシステムズ： 世界で普及している電子文書形式 Adobe PDF（アドビ पीデーエフ）関連技術。
- ・シャチハタ： 日本の文化・制度に馴染みの深い「印影」に関するノウハウを活用した電子印鑑。
- ・日本ペリサイン： 認証サービス最大手企業として豊富な実績があるサーバ証明書、クライアント証明書等の認証サービス。
- ・三菱電機： 高度な暗号技術と認証技術を核とする電子署名関連製品とシステム構築（SI）技術。

## 協業の内容

### 1. 製品・サービス体系の整備における協業

電子署名関連の製品・サービスを、次に示す共通の枠組みで各社が整備します。

「PDF 電子署名ソリューション」(図1、図2)

- ・ 印影 (電子署名の存在を可視的に表現する手段)
- ・ 電子証明書
- ・ 電子署名ソフトウェア (署名(押印) / 署名検証)
- ・ Adobe PDF (電子文書形式)

このため、これまでの各社の取り組みに加え、シャチハタの電子印鑑技術と三菱電機の認証技術を相互に提供し、それぞれの電子署名製品に組み込みます。

### 2. 販売促進における協業

各社は協力して、アドビシステムズの主催するセミナー、展示会などを通じ販売促進活動を行います。販売はシャチハタ、日本ペリサイン、三菱電機<sup>\*3</sup>の各社が各々のチャネルを通じて行います。また、日本ペリサインと三菱電機は、互いの製品・サービスの特長を活かせる顧客向けのシステム構築を協力して行うことで合意しました。

<sup>\*3</sup>:三菱電機グループでは、三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社が製造・販売を担当します。

今回の協業に基づく製品・サービスは、「印影」を使うなど利用者にとっての使いやすさを特長としています。また企業を中心とするお客様にとっては、文書作成から署名、送受信、確認、保管まで一貫して電子的に行う事を通じて業務の効率化、改善を図ることが可能となります。